野田人物語

のだひとものがたり

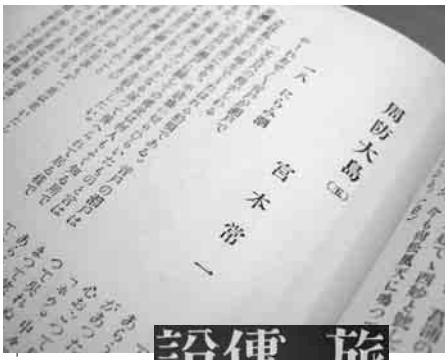
民俗学者・宮本常一③

人生を変えた大きな出会い

昭和5（1930）年の正月、雨の中をずぶ濡れで歩いたことが原因で、肺の病気となった宮本常一は、教え子たちの必死の看病にもかかわらず、危篤状態となります。両親も郷里から駆けつける中、生死をさまよった宮本でした。

病状は奇跡的に回復しますが、小学校の教員は1年間休職し、郷里の周防大島へ帰りました。病床では本を読み、体調が良くなると手帳を持って人の集る所へ行き、いろいろな話を書き留めてくる日々でした。

そして、宮本の人生を左右する出会いがありました。



宮本の原稿が載った雑誌「旅と伝説」（上）と同誌創刊号（三元社・岩崎美術社）／県立東部図書館蔵

ちょうどその頃、雑誌「旅と伝説」に投稿した昔話が、民俗学者・柳田國男（やなぎたくにお）の目に止まり、柳田と宮本との手紙による交流が始まります。

健康もひと通り回復し、昭和7（1932）年3月から、泉北郡北池田小学校に代用教員となった宮本でしたが、同9（1934）年の夏、京都で初めて柳田と会うと、民俗学に関わる沢田四郎作（さわだしろさく）、桜田勝徳、岩倉市郎などを紹介してもらいます。

ほどなくして、同メンバーなどによる大阪民俗懇話会（後の近畿民俗学会）が設立され、参加者も増えていきました。

そして、昭和10（1935）年3月、同会に突然、渋沢敬三が出席します。

渋沢は、実業家・渋沢栄一の孫であり、当時、第一銀行の常務取締役でしたが、民俗学にも造詣が深く、アチック・ミュージアム（屋根裏博物館）を主宰し、多くの若い研究者を養成していました。

渋沢の科学的な学問の進め方、そして「科学的」の意味を知った宮本は、本格的に体系的な研究を進める方法を考え始めていました。その年の夏、宮本は東京での柳田の記念講演会を聴講、渋沢邸のアチック・ミュージアムも見学し、渋沢とすっかりと打ち解けました。

昭和11（1936）年には初めて「周防大島を中心としたる海の生活誌」を同ミュージアムから刊行します。

昭和14（1939）年9月末に小学校を辞め、同年10月25日、アチック・ミージアムに入り、家族を大阪に残して、吉野、中国、東北、四国、能登、瀬戸内各地を歩きます。民俗学者としての〝旅〟が始ったのです。

※文中敬称略（次号へつづく）

【参考資料】「民俗学の旅」「日本民俗文化大系（3）澁澤敬三」ともに宮本常一著・講談社

9月の休日当番医

休日当番医での診療時間
外科・産婦人科＝9時～22時（ただし16時～19時は除く）
内科＝9時～16時（19時～22時は急病センターで行います）

日（曜日）	外　科	内　科	産婦人科
2日（日）	須藤整形外科（☎7122－1221）	たんぽぽこどもクリニック（☎7126－8118）	杉崎クリニック（☎7125－1070）
9日（日）	キッコーマン総合病院（☎7123－5911）	スズキ皮フ科内科クリニック（☎7126－2285）	川間太田産婦人科医院（☎7127－1135）
16日（日）	梅郷整形外科クリニック（☎7125－2011）	うちだ内科クリニック（☎7127－8181）	キッコーマン総合病院（☎7123－5911）
17日（月）	門倉病院（☎7124－5311）	あら山こどもクリニック（☎7129－7149）	小張総合病院（☎7124－6666）
23日（日）	山崎外科内科（☎7122－2359）	むらた内科循環器科クリニック（☎7127－8800）	荒井医院（☎7122－5723）
24日（月）	西村クリニック（☎7123－0050）	梅郷痛みと内科のクリニック（☎7126－1900）	遠藤産婦人科医院（☎7124－7860）
30日（日）	しばやま整形外科（☎7120－5355）	岡医院（☎7124－1218）	杉崎クリニック（☎7125－1070）

※休日当番医は変更することもあります。受診の際にはテレホンガイド（☎7124-7272：コード6101）、または野田市ホームページ（http://www.city.noda.chiba.jp/kurashi/04-01-01.html）で確認をしてください。

急病センター　☎7125-1188

▼内科（小児科）＝19時～22時まで（毎日）
▼歯科診療＝9時～12時まで（休日）

編集後記

▼偶然ですが今月号は、「百」にまつわる記事が目立ちました▼4ページ目、百円で乗車できる「まめバス」の利用者が、まもなく百万人になります。10月からは2つの新ルートでも運行を始めます▼6ページ目、8月1日現在で、市内の百歳以上の方は20人となりました。ご長寿を心よりお祝い申し上げます▼14ページ目、理窓会記念自然公園は、東京理科大学の創立百年を記念して開園しました。身近な自然を満喫できます▼そして16ページ目、民俗学者の宮本常一さんは、8月1日で生誕百年を迎えました（き）

市の木　けやき

市の花　つつじ

市の鳥　ひばり

人口と世帯（19.8.1現在）●人口＝155,196人（+57）男＝78,067人（+52）女＝77,129人（＋5）●世帯数＝58,497世帯（+80）●市の面積＝103.54㎢

市報のだ　第1003号　平成19年9月1日号／発行＝野田市（〒278-8550 野田市鶴奉7番地の1・☎04-7125-1111）／編集＝企画財政部秘書広報課